

研究活動におけるアンケートは、仮説を検証し実態を把握する重要な手段です。回答は協力者の貴重な「時間」と「情報」の提供によって成り立っています。協力への感謝を常に持って適切に実施してください。

## 1. 本校における基本ルール（必須遵守事項）

### (1) 【原則無記名】 個人情報の非収集

- Googleフォームの「メールアドレスを収集する」設定は必ずオフにします。
- 氏名、クラス・出席番号の組み合わせなど、個人が特定できる質問は禁止します。  
(個人が特定されないような必要最小限の属性情報を質問することは問題ありません。)

### (2) 【負担軽減】 回答時間は「1分程度を原則、最長でも2分以内」厳守

- 回答者の負担を最小限に抑えるため、所要時間は1～2分に収めます。
- 設問を厳選し、回答の質とデータの信頼性を確保してください。
- 自由記述は回答者の負担が非常に大きいため、分析に不可欠な場合のみ、最小限に留めてください。

## 2. 調査企画（アンケート設計の土台）

### (1) 研究仮説との連動

「この調査で明らかにしたいこと」を明確にし、「仮説の検証に必要なデータは何か」という視点で設問を設計します。

### (2) 分析イメージの具体化

- 「どのように分析・考察するか」を具体的にイメージします。(例:男女差の比較、学年別の傾向、クロス集計など)
- 最終的な分析・考察に使用しない設問は冗長です。必ず削除してください。

## 3. アンケート作成（依頼文と設問の品質）

### (1) 依頼文 研究活動として、丁寧かつ誠実な依頼文を冒頭に記載(下記文例)

私たちは、課題研究の一環として、本校生徒の「〇〇」についての調査を行っています。  
このアンケートは無記名であり、回答によって個人が特定されることは一切ありません。  
回答は統計的に処理され、研究発表(論文、ポスター、口頭発表など)以外に使用することはありません。  
所要時間は約1～2分です。ご多忙のところ恐れ入りますが、ご協力いただけますと幸いです。

### (2) 設問作成のチェックポイント

- プライバシー・倫理的配慮
  - 公序良俗に反する内容、他者を不快にさせる質問は厳禁です。
  - 家庭環境、思想信条などセンシティブな内容は、指導教員と必要性を精査した上で、慎重に扱ってください。
- 誘導尋問の禁止
  - 特定の回答を促す表現(例:「〇〇は重要ですが・・・」)は、データの偏りを生みます。
- ダブルバーレル(二重質問)に注意
  - 1つの設問で2つ以上の事柄(例:「デザインと機能に満足か」)を同時に尋ねてはいけません。例えば「デザインは好きだが機能は不満」な回答者が回答を選べず困惑します。必ず分割してください。
- 回答しやすい設問順序と形式
  - 回答者の思考プロセスに沿った自然な設問の流れ(例:事実(属性)→意見・評価)になっているか。
- 回答選択肢の網羅性
  - 単一・必須回答の設問は回答者が必ずいずれか1つを選択できるように選択肢を設定してください。

## 4. 実施前 最終確認チェックリスト

実施する前に、以下の全項目をチームの全員と指導教員で最終確認してください。

### A. 基本ルール・倫理

✓	確認項目
	個人が特定できる質問（氏名、クラス、出席番号等）は一切含まれていないか？
	他者を不快にさせたり、公序良俗に反したりする質問は含まれていないか？
	センシティブな内容を扱う場合、指導教員と必要性を精査したか？

### B. 依頼文・設問品質

✓	確認項目
	ガイドライン文例に沿った依頼文（目的、無記名、統計的処理、所要時間）を冒頭に記載したか？
	分析・考察に使用しない冗長な設問は削除したか？
	回答者の思考プロセスに沿った自然な設問の流れになっているか？
	特定の回答を促す「誘導尋問」になっていないか？
	1つの設問で2つのことを尋ねる「ダブルバーレル」になっていないか？
	負担の大きい「自由記述」は、分析に不可欠なものに最小限化されているか？
	全員に回答を求める設問に「必須回答」の設定を行っているか？
	単一回答・必須回答の設問で、全回答者が必ず選択できる選択肢が用意されているか？

### C. システム設定・テスト

✓	確認項目
	Googleフォームの「メールアドレスを収集しない」設定はオフになっているか？
	グループ全員で回答テストを実施したか？
	テストの結果、回答所要時間は「1～2分以内」に収まっているか？
	誤字脱字、分かりにくい表現はないか？
	分岐設定を使用した場合、全パターンで意図通りに遷移するか確認したか？
	フォームのリンクは  をクリックして取得したものであるか？

### D. 最終承認

✓	確認項目
	指導教員に最終版を確認してもらい、倫理面・研究面での「実施承認」を得たか？

以上のガイドラインを遵守し、実りある研究活動としてください。